

しょうがくせいよう
小学生用
ぼうさいきょういく
防災教育
ふくどくほん
副読本

ふうすいがい 風水害に そな 備えよう

かんが か がわ ぼうさい
みんなで考える香川の防災ブック ふうすいがいへん
風水害編

とき
いざという時のために
みんなでいっしょに
かんが
考えましょう!!

おおあめ たいふう
大雨や台風で
どんなことが
お
起こるの?

うみちゃん

どうやって
みまも
身を守れば
いいのかな?

くん
りく君



カエル
せんせい
先生

なまえ
名前:

風水害に備えて、 みんなで学ぼう。

ふうすいがい
風水害って
たいへん
こんな大変なことに
なるんだ…。



日本はもともと雨が**多い**地域ですが、**近頃は**地球温暖化などの影響により、
これまで**経験した**ことのないような**大雨**が降るようになってきました。

香川県でも**大雨**や**台風**によって、**家が水に浸か**ってしまったり
命が**うば**われたりして、**大きな被害**が出ています。

風水害が**なぜ**起こるか、
どうすれば**被害**を**少なく**することができるか。
みんなで**いっしょ**に**考え**てみましょう。



平成16年 台風23号による**浸水被害**
善通寺市

あんなに**大きな岩**が
落ちてきたら
大げがするよ!!



平成30年 梅雨前線による**土砂崩れ**
丸亀市広島

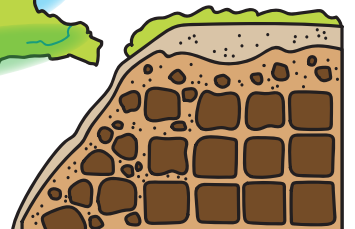
ここにあるのは
私たちの住む香川県で**起こった**
災害を撮影した**写真**です。
こんな時、どのよう**に行動**すればいいの**か**
いっしょに**学ん**でいきましょう。



香川県の地形(河川)・地質の特徴

香川県は、**河川**のほとんどが**南**にある**讃岐山脈**から
北の**瀬戸内海**へ向かって流れています。そのため、**長さ**
が**短く**、**勾配**が**急な河川**が多くなっています。

また、香川県は、**雨**にもろく**崩れ**やすい**地質**でできて
いて、**大雨**などに見舞われると**大規模な土砂災害**が発生
する**危険性**があります。



日本をおそった大きな風水害

ここにあげたのは
主な風水害だけ。
本当はもっとたくさん
発生しているんですよ。



昭和49年7月
(1974年)

台風8号

死者・行方不明者146名
梅雨と重なった大雨により、九州から関東にかけて被害が発生。

香川県での被害 その1

昭和51年9月
(1976年)

台風17号

死者・行方不明者171名
台風が長い間日本付近に留まり、全国的に記録的な大雨となった。

香川県での被害 その2

平成16年
(2004年)

戦後最も多い10個の台風が日本に上陸。めったに台風が来ない北海道にも被害が発生。
台風16号(8月)
台風21号(9月)
台風23号(10月)

死者・行方不明者17名
死者・行方不明者27名
死者・行方不明者98名

香川県での被害 その3

平成23年8-9月
(2011年)

台風12号

死者・行方不明者98名
和歌山県や奈良県で被害が大きかったため「紀伊半島大水害」と呼ばれている。台風のスピードが遅く長時間大雨が続き被害が発生。

平成26年8月
(2014年)

8月豪雨

死者84名
広島県では死者76名を出す土砂災害なども起こった。台風12号・11号などの影響で7月末から8月下旬まで全国的に大雨が続き、各地で被害が発生。

平成30年7月
(2018年)

7月豪雨
(西日本豪雨)

死者・行方不明者245名
西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となり、各地で被害が発生。特に岡山県、広島県、愛媛県の被害大。

令和2年7月
(2020年)

7月豪雨
(熊本豪雨)

死者・行方不明者86名
梅雨前線が長く留まり、九州、特に熊本県を中心に日本各地で大雨となった。

※「豪雨」とは、激しい勢いでたくさんのお雨が降ることです。

香川県でも
被害がたくさん
出てるんだね



香川県での被害 その1

台風8号による豪雨

昭和49年7月6日、台風の接近によって、東讃地域と小豆島を中心に集中豪雨が発生。

- 死者 29人 ●負傷者 24人
- 家屋全壊・半壊 263戸
- 床上床下浸水 9,350戸



死者29名を出した小豆島の旧内海町での土砂災害の様子。

香川県での被害 その2

台風17号による豪雨

昭和51年9月8日～13日、香川県全域で豪雨が発生。中でも小豆島では6日間で1年分の雨が降りました。

- 死者 50人 ●負傷者 127人
- 家屋全壊・半壊 591戸
- 床上床下浸水 19,701戸



土砂災害によって被害を受けた小豆島の神懸通の様子。

香川県での被害 その3

台風による豪雨と高潮被害

平成16年、香川県はたて続けに台風におそわれ、豪雨と高潮により大きな被害を受けました。

- 台風15号 ●死者 5人 ●負傷者 4人 ●床上床下浸水 407戸
- 台風16号 ●死者 3人 ●負傷者 6人 ●床上床下浸水 21,589戸
- 台風23号 ●死者 11人 ●負傷者 30人 ●床上床下浸水 16,509戸



台風15号の時の旧大野原町前田川。

参考元：内閣府「防災情報のページ 災害情報」 / 気象庁「災害をもたらした気象事例」 / 香川県「過去における主な風水害等一覧」

自分たちで
聞いてみよう!!

風水害を体験した人に
話を聞いてみよう!

(例) ・災害が起こった時の状況 ・災害の時に困ったこと ・こうすれば良かったこと など

上記以外にも、香川県ではたくさんの風水害が起こっています。家族や知り合いに、体験した人がいるかもしれないので、さがして話を聞いてみましょう。





ふう すい がい 風水害とそのしくみ

台風や大雨はどうして起こるのでしょうか。また、強い雨や風はどのような災害を引き起こすのでしょうか。

なぜ台風や大雨が起こるの？

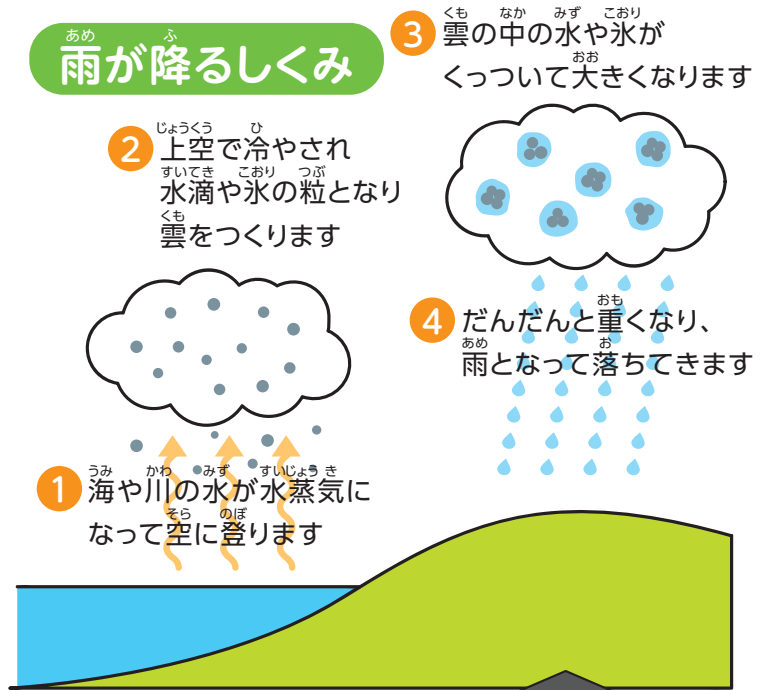
雨は、空に浮かんでいる雲から降ってきます。雲は、水滴や氷の粒が集まってできていて、これが大きくなると空中に浮かんでいることができなくなり、雨となって落ちてくるのです。

雨を降らせる雲の中でも「積乱雲」と呼ばれる雲は、強い雨を降らせたり、かみなりを発生させたりします。



この積乱雲がたくさん集まって発生する台風や、長雨が続く梅雨など、日本は季節によって雨が降りやすくなっています。

雨が降るしくみ

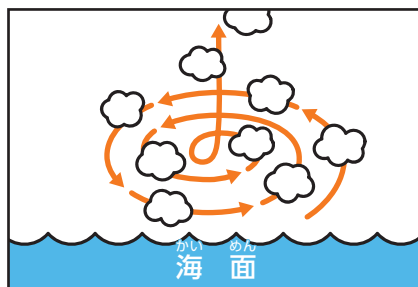


積乱雲は「入道雲」とも呼ばれていて、下からもくもくと立ち上がった形をしています。

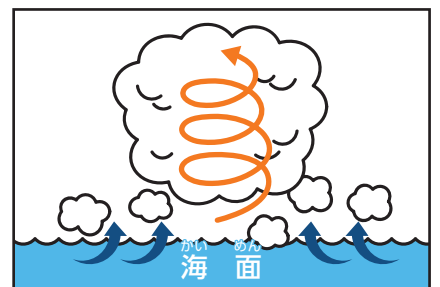
大雨が降りやすいのはどんな時？

台風シーズン

強い風を吹かせ大雨を降らせる台風は、日本のはるか南の熱帯の海で一年中発生していますが、気圧や風の影響で、日本には夏から秋にかけて多くやってきます。



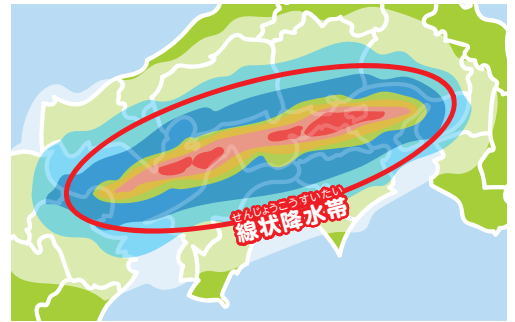
強い太陽の光で海面が熱せられてできた水蒸気は、うずを巻きながら空に上っていき積乱雲を作ります。



積乱雲が集まるとうずが大きくなり、風が強くなります。風の速さが毎秒17m以上になったものを「台風」と呼びます。

線状降水帯

線状降水帯とは、雨を降らせる積乱雲が次々と発生し、線のように連なっている状態のことを言います。この線状降水帯が原因で、同じ地域で長時間にわたり大雨が降り続きます。



ゲリラ豪雨

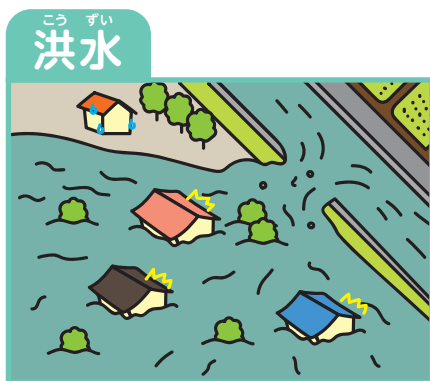
ゲリラ豪雨は、突然発生し、短時間(長くても1時間程度)の間に狭い範囲で激しく降る雨のことです。

夏のはじめから、秋ごろまでに多いんだって! 気をつけよう!

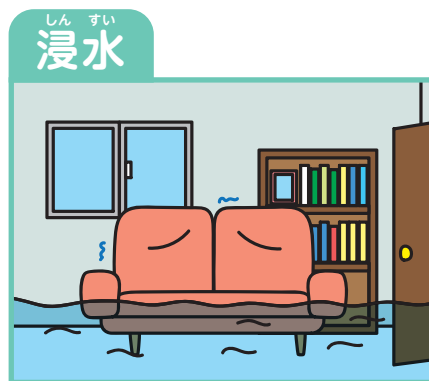


台風や大雨はどんな災害を起こすの?

水害いろいろ



川を流れる水の量が増加し、堤防や川岸からあふれ出ることを「洪水」といいます。道路に大量の水が押し寄せたり、家を流してしまうこともあります。



雨や川からあふれた水で、建物が浸かってしまうことを「浸水」といいます。水が床の下までせまるのを「床下浸水」、床の上まで上がってくるのを「床上浸水」といいます。



強い風や気圧の影響で海面の高度が異常に上がることを「高潮」といいます。海水が押し寄せ、海岸付近の道路や建物を壊したり、浸水の被害が起こります。

場所によっては水の深さが1mにもなったんだって。



香川県で起こった高潮

平成16年8月にやってきた台風16号は、満ち潮と重なったため高潮が起き、被害が大きくなりました。高松市中心部の道路やたくさんの建物が海水に浸かりました。



ふう すい がい 風水害とそのしくみ

危険は、水だけではありません。
土砂によって起こる災害も見てみましょう。



どしゃさいがい
土砂災害は、
あめ ふ
雨が降っている時だけでなく、
や
止んだ後に起こることもあるので
ようちゅうい
要注意!!



どしゃさいがい 土砂災害いろいろ

がけくずれ



あまみず
雨水で地面がやわらかくなり、
しゃめん
斜面がくずれ落ちること。突
ぜん
然くずれるので、住宅の近くで
おこるとに逃げ遅れて死者が出
ることがあります。

地すべり



地面がひび割れて、少しずつ
下にすべる。大雨で地面に
水が入り込むことで起きます。
ゆるやかな斜面でも起こり、
広い範囲に被害がおよびます。

土石流



山や川の土砂や石などが、雨
水と一緒に流れてくること。
自動車のように速いスピード
で押し寄せるので、大きな被害
が出てしまいます。

かがわけん 香川県で起こった土石流



平成16年の台風21号で発生した土石流に
よって被害を受けた小学校の様子です。
土石流は、土砂だけでなく、岩や木を巻き込
で、運動場や校舎に流れ込みました。

右の写真は、
もしかしてプール!?
フェンスがまがるほど、
勢いが強いんだね。
おそろしいな。





災害から身を守ろう

災害に巻き込まれる前に、自分の安全を確保することが大切です。
どんな行動をすればいいのか、考えてみましょう。

情報を集めよう

風水害は、事前に身を守る準備をすることができます。まずは、自分がどう行動すれば安全なのか、テレビ、ラジオ、スマートフォンなどを使って、正しい情報を確認しましょう。



まずは、災害の正しい状況を
知ることが
大切なんだね。

下の表を参考に
注意してニュースを
見てみましょう!



雨の強さや降り方

| 予報用語 | やや強い雨 | 強い雨 | 激しい雨 | 非常に激しい雨 | 猛烈な雨 |
|------------|-----------------|-------------|------------------|---------------------|-------------------------------|
| 1時間雨量 (mm) | 10以上～20未満 | 20以上～30未満 | 30以上～50未満 | 50以上～80未満 | 80以上～ |
| 人の受けるイメージ | ザーザーと降る | どしゃ降り | バケツをひっくり返したように降る | 滝のように降る (ゴーゴーと降り続く) | 息苦しくなるような 圧迫感がある 恐怖を感じる |
| 人への影響 | 地面からはね返りで足元がぬれる | 傘を差していてもぬれる | | 傘がまったく役に立たなくなる | |

5つの警戒レベルと注意報・警報

| 警戒レベル | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-------------|-------------------|------------------------------------|--|-------------------------------|--|
| 避難情報・とるべき行動 | 最新情報に注意し、災害への心構えを | ハザードマップで避難場所や危険な場所をチェックするなど避難行動の確認 | 高齢者等避難 避難に時間がかかる高齢者や障がいのある人などは安全な場所に避難を | 避難指示 すべての人が危険な場所からすみやかに避難を | 緊急安全確保 災害が発生、または切迫し命が危険な状態。ただちに安全確保を! |
| 注意報・警報 | 早期注意情報 | 大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 | 大雨警報 (土砂災害) 洪水警報 高潮注意報※ | 土砂災害警戒情報 高潮特別警報 高潮警報 | 大雨特別警報 |

※警報に切り替わる可能性があります。高い場合はレベル3となります。





災害が起こったら…

さまざまな災害に対して、どんな行動をとればいいのでしょうか。大雨・台風や災害が起きた時、どうなるのかを知らながら、学んでいきましょう。

大雨で考えられる危険

大雨が降ると、川や用水路の水があふれとても危険です。

また、傘を差せないほどになると、雨やしぶきでまわりが見えなくなり、動けなくなることもあります。



水しぶきでまわりが見えず、歩けなくなる



用水路や側溝の水があふれて道路との境目がわからなくなる

いつも通る道でも雨の量が多いと危険な場所になるんだね。注意しないと。



身を守る行動

家など屋内にいる時は、外出をひかえましょう。

テレビなどで情報を確認し、外の様子が気になっても、安全が分かるまでは、外に出ないようにしましょう。

建物が危険な場所にある場合は、早めに避難を。

避難経路を確認し、安全な避難場所に向かいましょう。ゆつくりでも安全に移動できるように、早めの行動が大切です。



避難については11ページ

外にいる時は建物の中など安全な場所に避難しましょう。

今いる場所より、高い場所にある建物に避難しましょう。自転車に乗っている場合は、雨でタイヤがすべることもあるので、気をつけて運転をしましょう。

川やため池、用水路には近づかないようにしましょう。

あふれた水で境目がわからず、足をふみはずし、おぼれることもあります。川やため池、用水路には近づかずに、安全な場所へ移動しましょう。



香川県はため池が多い!

水不足に悩まされてきた香川県には、たくさんのため池があります。その数は12,269箇所(令和3年4月現在)で全国第3位。また、ため池の数を県の面積で割った「ため池密度」は全国第1位です。

ため池は、台風や大雨の時には、いったん水をためることで川の水があふれるのを防いでくれています。しかし、雨の量が多すぎると、周囲に水があふれてしまうこともあります。近づかないようにしましょう。



台風が近づいた時に考えられる危険

台風が近づくと、大雨と強い風によって、洪水や浸水、土砂災害のほかにも、風でものが飛ばされたり、停電や断水になったりすることがあります。



風でものが飛んできて
けがをする



停電で
電気が使えない

自分だけでなく
周りの人の安全も
考えて行動しなくちゃ
いけないだね。

身を守る行動



台風情報を確認しましょう。

テレビなどで、台風情報を確認し、避難しなければならぬ、もしもの時のために準備をしましょう。
川や用水路の様子を見に行くのはやめましょう。



傘はささずに、
移動しましょう。

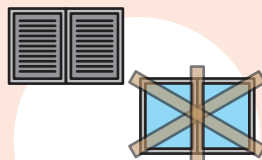
傘を差すと強い風で飛ばされて、ほかの人がけがすることも。風雨が強くなる前に、早めに安全な場所に避難しましょう。

台風がやって来る前にできること

台風は、いつごろ近くなるかを、ニュースなどで、前もって知ることができます。台風が近づき、外に出ることができなくなる前に、台風対策を行いましょう。



飛びやすいものは
片付ける



雨戸を閉める
(雨戸がない場合はテープをはろう)



川やため池が近くにある
場合は土のうを準備

高潮で考えられる危険

高潮が起こると、浸水の危険はもちろん、強い波の力で、まちを守る堤防をこわしてしまうこともあります。

身を守る行動

海には近づかず、必要な場合は
早めに避難をしましょう。

様子を見に海に近づくと波にのまれることがあります。

また、満潮とかさなると、
高潮の被害は大きくなります。
常に情報を確認し、
注意しましょう。



避難できない時は、できるだけ高い場所に。

浸水の危険があるけど避難できない時は、2階や3階など、なるべく高い場所が安全です。

洪水で考えられる危険

洪水が起こると、家や田畑、道路に水が押し寄せ、家が川に近ければ、家ごと流される危険があります。

ふだんはおだやかな川でも、あっという間に水が増えて激流に変わり、避難が遅れると川に流されてしまうこともあります。



急に川の水が増えて、流れに巻き込まれる

家が流される!? そんな強い水からどうやって避難すればいいんだろう。



身を守る行動

避難の呼びかけに注意しましょう。

気象庁から発表される情報や役場からの避難の呼びかけに注意し、すぐに避難できるように準備しておきましょう。

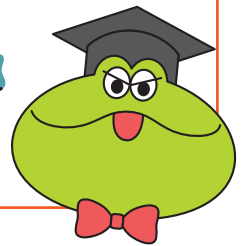


川や用水路の周りには近寄らないようにしましょう。

あふれた水によって、川や用水路だけでなく、その周りも激しい流れができることがあります。足を取られ流される危険もあるので、近寄らないようにしましょう。



水が浅くても人はおぼれてしまいます。油断してはいけません。



浸水で考えられる危険

浸水になると、外だけでなく、家の中にも水が入り込み水びたしになることもあります。また、道路では水によって歩きにくくなったり、流れに足を取られたり、底が見えず深い場所に転落してしまうこともあります。



水でドアが開かなくなる



足元が見えにくくけがをする危険

身を守る行動

「浸水する前に避難」が大原則。

浸水している中を移動するのはとても危険です。そうなる前に、安全な場所に避難しましょう。

浸水してからどうしても移動しなければならぬ時は、傘などを使って足元を確かめながら進みましょう。



水のやってこない高い場所に避難。

水が流れ込む危険のある地下は避け、高い所に避難しましょう。

もし、別の場所へ避難する場合は、エレベーターは浸水による停電で閉じ込められる危険があります。使わないようにしましょう。



土砂災害で考えられる危険

広い範囲で土砂や岩などが流れ込み、建物や田畑、道路をのみ込みます。逃げ遅れると土砂や瓦れきの下じきになってしまうこともあり、とても危険です。



土砂が押し寄せてくる...
どうやって対策すればいいのかな？



土砂の下じきになって
動けなくなる

土砂災害の前ぶれ

土砂災害には起こる前に、いくつかの前ぶれが見られることがあります。

- 右の他にも、
 - 川の流れがにごり、木が流れてくる。
 - 地面にひび割れができる。
 - 山鳴りがする。
- などの前ぶれが見られることがあります。



雨が降り続けているのに
川や沢の水が減る



小石がパラパラ
落ちてくる



斜面から水が
わき出る

身を守る行動

危険な場所には近づかない。

崖や谷、川など、土砂災害の危険のある場所には近づかないようにしましょう。



2階以上に移動しましょう。

避難経路が絶たれたり、大雨などで外に出るのが危険だったりと避難が難しい場合は、2階以上で崖や斜面の反対側の部屋に移動しましょう。

前ぶれに気づいたらすぐ避難しましょう。

前ぶれが見られる時は土砂災害がいつ起きてもおかしくない状況です。前ぶれに気づいたら周りの人にも知らせるばや早く避難しましょう。



丸亀城の石垣崩落

平成30年の梅雨や台風の影響によって丸亀市のシンボルである丸亀城跡の石垣が崩落しました。雨水が石垣の土台の土に染み込み、地すべりを起こしたと考えられています。





避難が必要になったら...

避難するための準備や注意を学んで、すぐに行動できるようにしておきましょう。

必ず、災害が起こる前に、早めに安全な場所に避難しましょう。



避難する時どうするの？

家から避難する時は、家を出る前にブレーカーを切り、ガス・水道の元せを閉めます。また、戸じまりも忘れないようにしましょう。

家族だけでなく、近所に住む人にも声をかけ、できるだけ2人以上で避難し、何かあった時に助け合えるようにしましょう。

避難する時の準備

避難する時は、強風や大雨の中を移動することもあります。安全に、すばやく避難するためには、前もって準備が必要です。避難場所に持って行くものを確認し、準備しておきましょう。

また、安全に移動するためには服装にも気をつけなければなりません。確認しておきましょう。

動きやすい服装で！



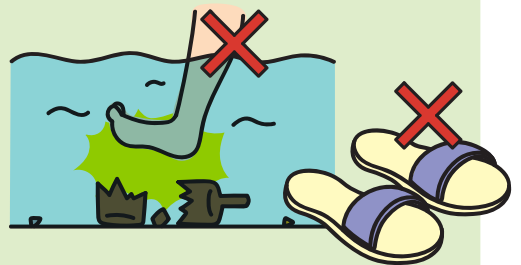
ヘルメットや防災頭巾で頭を守ろう

防水素材の長そで・長ズボンを着よう

周りの人が気づきやすいよう目立つ色を選ぼう

靴は脱げにくく、滑りにくく、厚底のものを履いて、移動しよう

靴がぬれてしまうからとはだしで移動すると、何かを踏んでけがをすることがあります。長靴を履く場合は、水が入りにくいように長さのあるものや、脱げにくいものを選びましょう。



スニーカーなら、マジックテープの靴より、ひもをむすぶ靴の方が脱げにくい！



持ち物は最小限に!

持ち物は、持って歩ける量で、避難する時や避難場所
自分が必要になるものと考えて用意しましょう。薬やメガネ
など代わりのきかないものは必ず持っていきましょう。

避難しやすいように
持ち物は両手のあく
リュックサックに入れよう



(例) 避難する時の持ち物



飲料水



食べ物



携帯電話・充電器



ラジオ



連絡先(家族、親戚など)



懐中電灯



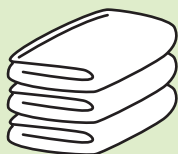
着替え



雨具



携帯トイレ



タオル



ウェットティッシュ



歯ブラシ



薬



メガネ など

自分たちで
考えよう!!

自分や家族に必要なものを考えてみよう!

上記の持ち物以外にも、自分に合わせた備えについて、考えてみましょう。

(例) ・ペットを飼っている ・アレルギーがある ・赤ちゃんがいる など

さっそく私も
自分に必要なものを
準備しなくちゃ!



避難する時の注意点

災害によってはわずかな時間で危険な状況になってしまうこともあります。
安全に避難できるうちに、早めに行動しましょう。

- 明るい昼間に避難
- 原則、車を使わずに歩いて移動
- 浸水している時は、傘などで足元を確認



市や町が決めた避難場所だけでなく、親戚や知り合いの家、ホテルなどへの避難も考えて、相談しておきましょう。
※自分の家が安全だと分かれば、無理をして移動する必要はありません。



被害を少なくするために

災害は、いつ起こるか分かりません。
身を守るためにはどのように行動すればいいか、ふだんから考えておきましょう。

■ あらかじめ、危険な場所、安全な場所を知ろう！

災害が起こった時、あらかじめ、危険な場所や安全な場所を知っておけば、すばやく避難することができます。ハザードマップ(防災マップ)やインターネット・アプリなどを活用して、確認しておきましょう。



〈ハザードマップイメージ〉

ハザードマップ

ハザードマップとは災害の時に危険な場所や避難場所を色や記号で表した地図のことです。各市町で作られているハザードマップは、役場などで配布していたり、Webサイトでも見ることができます。

ハザードマップの見方の例

① 凡例を確認しよう

ハザードマップによって、マークなどの表し方は違います。まずは、地図の記号や色分けの意味を書いている『凡例』を確認しましょう。

② 自分の家の災害リスクを見てみよう

地図で自分の家の位置を確認し、浸水や土砂災害の危険がないか見てみましょう。

③ 避難場所を確認しよう

自分の家から近い避難場所を確認し、そこまでの経路を考えておきましょう。



しんすいそうてい
指定緊急避難場所

さいがい きげん いのち まも
災害の危険から命を守るために
緊急的に避難する場所。災害の
種類ごとに指定されている。



しんすい
指定避難所

ひなん ひと いっていきかんたいざい
避難した人が一定期間滞在
するための施設。

自分たちで
見てみよう!

自分が住んでいる地域のハザードマップを見てみよう

自分の住んでいる地域のハザードマップで、自分の家がどこにあるのか、また、危険な場所、避難場所を確認してみましょう。

まずは
ハザードマップを
手に入れよう!



かがわ防災Webポータル

かがわ防災Webポータルは、香川県が運営している防災情報のサイトです。ハザードマップや気象警報・注意報などの情報を見ることができます。



香川県防災ナビ

香川県防災ナビは、避難行動を支援するアプリです。



- 危険なエリアにいる利用者へプッシュ通知
- ハザードマップ・避難所情報の地図表示
- 現在地付近の避難所などへのルート検索
- 事前に登録した家族などの安否確認

右記からアプリをダウンロードできます。



災害に備えて準備をしよう!

災害が起こると、電気、ガス、水道、情報通信といった生活にかかせないものが使えなくなることがあります。もしもの時、生活していくためには、どんな時に、どんなものが必要かを考え、ものの備えをしっかりとっておきましょう。

どんなものが役に立つかな?

| | | |
|--|--|---|
| <p>電気・ガスが使えないとき</p> <p>懐中電灯やろうそく</p> <p>カセットコンロ・ガスボンベ</p> <p>汗ふきシート</p> <p>など</p> | <p>水が使えないとき</p> <p>飲料水</p> <p>非常用トイレ</p> <p>簡易トイレ</p> <p>消どく液</p> <p>など</p> | <p>情報通信が使えないとき</p> <p>ラジオ</p> <p>100 10 10</p> <p>公共電話で使う小銭</p> <p>ハザードマップ</p> <p>など</p> |
|--|--|---|



バランスのよい食べ物

からだをきれいにたもつ衛生用品

被害にあった時
どんなことが起こるのか
考えて準備すれば
いいんだね!



被害を少なくするために・・・

時間が経つと自分に必要なものも変わってくるかもしれません。しっかりと確認しましょう。

備蓄品はきちんと管理しよう

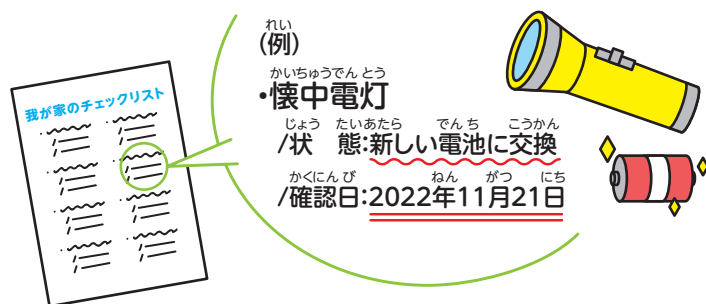
備蓄品の中には、食品の消費期限、懐中電灯の電池など、時間がたつとダメになってしまうものもあります。そのため、使えるかどうか、家族でしっかりと確認することが大切です。

我が家のチェックリスト

14ページを参考にしたり、家族で話あったりして決めた「我が家の備蓄品」をまとめたチェックリストを作りましょう。

チェックリストの作り方

- 紙に必要な備蓄品を書こう
家族で決めた「我が家の備蓄品」を紙に書き出しましょう。
- 状態や確認日を書き込もう
備蓄品の横に状態や確認日を書き込んで、交換のタイミングが分かるようにしましょう。



ローリングストック法を知っていますか？

備蓄した食材や加工品を日ごろから食べたり、使ったりして、管理する方法です。『備蓄する』『使う』『確認する』『買う』というサイクルで、いつも新しい非常食を簡単に備蓄することができます。

せんもんか 専門家に聞きました!!

自分の身は自分で守る。そのために住んでいる土地を調べよう!



香川大学 特任教授
長谷川 修一 博士

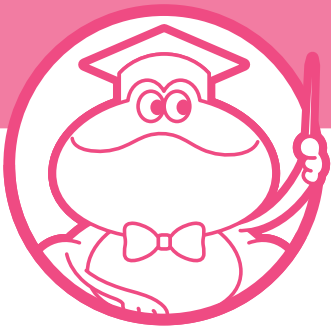
最近よく聞こえてくる、大雨や洪水、がけくずれなどの風水害のニュース。こうした深刻な被害は、日本中どこで起こってもおかしくありません。もちろん、みなさんが住んでいる香川県でも起こる可能性があります。

実際、過去には香川県でも痛ましい風水害の被害が出ています。例えば、昭和51年の小豆島災害では、6日間で一年分の降水量にあたる1400mmの雨が降り、土石流によって多くの家が流されてしまいました。

香川県の川は、いつもは水が少ない川として知られていますが、いったん大雨が降ると、一気に水があふれ、とつもない速さで流れてきます。河原には、レキと呼ばれる石がゴロゴロしていますが、それは大雨の際に上流から運ばれてきた石で、それが洪水になると周辺の家屋をおそいます。上流から下流までが短い香川県の川はとても危険なのです。また、季節で言えば、七夕の頃や秋の初めは台風と前線が同時に発生することがあり、線状降水帯が発生しやすくなります。

大切なのは、自分の身は自分で守るということです。そのために、まず自分たちが住んでいる所がどのような土地なのか調べてみましょう。すると、過去の災害や身近にひそんでいる危険な

場所が見えてきます。そして、知識だけで分かったつもりになるのも危険です。安全に気をつけて実際に歩き、目や耳、匂いなど自分の五感で体感しましょう。近づいてはいけない場所や避難経路、避難場所など、自分の目と足で確認しておきましょう。



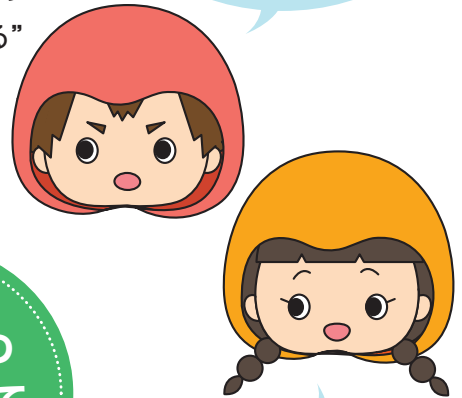
ち い き ひ と 地域の人とつながろう

さいがいはおききたときはどこもたいへんな状況です。すぐには助けがこないかもしれません。そんなときたよりになるのは近くに住む地域の人たちです。

「自主防災組織」って知ってる？

自主防災組織とは、防災活動をするために作られた地域の人たちの集まりです。災害が起こったとき、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という思いから作られています。

自主防災組織って
どんなことを
している人たち
なんだろう？



自主防災組織の目的

一人でも
多くの人の命と
安全を守る

火事などの
災害の広がりを
おさえる

避難生活の
中心となって
地域を支える

地域の防災訓練にも
参加してみよう!!

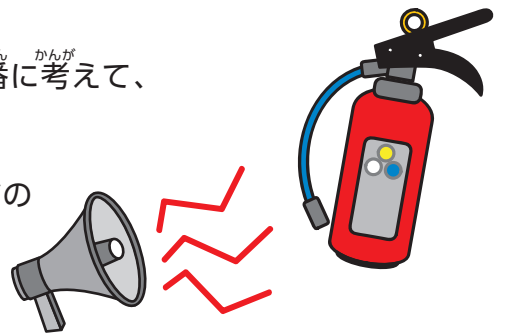
自主防災組織の活動

災害時

災害が起こったときには、みんなの命を一番に考えて、より被害が少なくなるように行動します。

平常時

災害に強いまちにするために防災訓練などの活動をしています。



消火訓練



避難所開設訓練



炊き出し訓練



備品の整備

困ったときにはみんなで
助け合うことが大事です！
日ごろから、地域の人との
つながりを大切にしましょう。



我が家の避難場所一覧を作ろう!!

もし家族とはなれている時に災害が起きてしまったら?いざという時のために、家族と相談して、避難する場所の一覧を作りましょう。

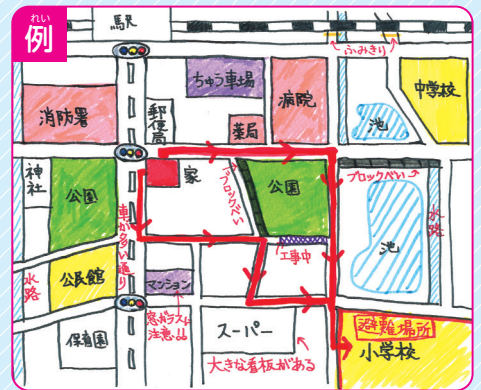
| どんな災害? | 避難場所 | 家族の集合場所 |
|--------|-------|-----------|
| (例)大雨 | 防災小学校 | 体育館の入り口の前 |
| | | |
| | | |
| | | |

防災マップを作ってみよう!!

13ページのハザードマップのように、自分の家から避難場所までの間で、危険な場所がないかを考え、防災マップを作りましょう。

作るポイント

- 自分の家を真ん中を書く。(地図を使ってもよい)
- 目印になる学校や大きな建物、道路や川などを書く。
- 避難する場所を書く。
- 危険なところ、安全なところを書く。
- コメントを書く。(なぜ危険・安全なのか)
- 避難する道順を書く。



実際に書いてみよう!

書きにくい場合は、大きな別の紙に書こう!

特に危険なところをチェックしよう!!

- ・海やため池、川の近く
- ・看板や電信柱のあるところ
- ・ビルの窓ガラスやショーウィンドウ
- ・車の多い通りや通りにくい道
- ・ブロックべいのあるところ など

避難場所まで歩いて、走ってどれくらいかかるかも書いておこう!

※実際の避難と同じように、非常持ち出し袋をせおって時間を計ってみましょう。

できたマップを使って
避難の方法や集合場所を
家の人と話し合いましょ!



災害時の行動を決めよう!!

災害が起こった時にあわてず、身を守ることができるように、いつ、何をするかをあらかじめ決めておきましょう。

「マイ・タイムライン」について知ろう!

「マイ・タイムライン」とは災害が起こった時に自分がどう行動するのかをまとめた防災計画です。



つくろう!マイ・タイムライン

香川県が制作した、マイ・タイムラインの作り方を紹介したリーフレットです。家族で確認してみましょう。



家族で考えて作ってみよう!

香川県の「つくろう!マイ・タイムライン」のリーフレットを参考に、災害時にどう行動すべきか家族と一緒に考えて、書き込んでみましょう。

作るポイント

- 「だれが」、「何をするのか」が分かるように書く。
 - 準備にかかる時間も書く。
 - 家族での約束事も一緒に書く。
- (例) 緊急連絡先は●●●-●●●●-●●●● など

| 警戒レベル | 避難情報など | 自分の行動 |
|-------|---------|----------------------------------|
| 5 | 緊急安全確保 | (例) 逃げ遅れたら、家の2階に避難する など |
| 4 | 避難指示 | (例) みんなで〇〇小学校に避難する など |
| 3 | 高齢者等避難 | (例) 避難する服装に着替える など |
| 2 | 大雨注意報など | (例) お父さんは家の周りで飛びそうなものがないか確認する など |
| 1 | 早期注意情報 | (例) みんなで避難場所に持っていくものを確認する など |

マイ・タイムラインは、あくまで目安です。危ないと思ったら早めに行動しましょう。

香川県災害の記録

知っている場所はないか見てみよう！



昭和49年に被害を受けた旧内海町の
椎木川付近の様子。



昭和51年に被害を受けた旧内海町の
町役場前県道の様子。



平成16年の台風23号により被害を
受けた本津川の様子。



平成16年の台風23号により被害を
受けた津田川の様子。



平成16年の台風23号により氾濫する
綾川の様子。



平成16年の台風23号により氾濫する
財田川の様子。

利用してみよう

香川県防災センター

映像や疑似体験により、さまざまな状況が体験できる施設。
風速 30m までの暴風を体験することができます。



体験できること

- 消火体験
- 地震体験
- 救急救護体験
- 映像体験
- 暴風体験
- 煙避難体験

高松市生島町689-11 (香川県消防学校教育訓練棟1階) TEL:087-881-0567 開館時間:午前9時~午後5時(正午~午後1時までは休館)
休館日:毎週月曜日(月曜日が祝日の時は、その日以降の最初の平日)、年末年始(12月29日~1月3日)

小学生用防災教育副読本

風水害に備えよう

〈みんなで考える香川の防災ブック 風水害編〉

発行/香川県危機管理総局危機管理課
〒760-8570 香川県高松市番町四丁目1番10号
TEL:087-832-3111 FAX:087-831-8811



令和4年11月発行(初版)

このパンフレットは環境にやさしい「FSC®認証材および管理原材料」と、有害な物質がほとんど出ない「植物油インキ」を使用しています。また廃液の出ない「水なし印刷」で印刷しています。

